

令和 4 年 5 月 26 日

2021 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 未来へ 自立援助ホーム 太陽
代表者・役職名 氏名 藤本 優

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

自立援助ホーム 太陽 施設設備

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

児童養護施設や里親のもとで暮らしている子ども達や自立が困難な若者を支援するべく平成26年に「NPO 法人未来へ」を立ち上げ、現在では会員数10名になっております。その活動を進めていく中で岡山県には児童自立援助ホームの男子寮が無いことが分かり、自立援助ホームの必要性を感じ、NPO 法人未来へで設立することになりました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自立援助ホーム内の施設環境整備をする事業である。主に今現在リビングのエアコンが10年以上前のもので故障してしまい利用できず、また入居者使用予定の部屋の1室にエアコンが設置できておらず入居者が生活するのに困難を強いられています。そのため、エアコンの改修・新設工事に本助成金を充てたいと思っている。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

上記した通り、今現在リビングのエアコンが故障し、入居者用の部屋にエアコンが設置できていない箇所があり、入居者の子どもたちに不便な思いをさせてしまい、子どもたちからも修理をしてほしいとの声が多く上がってきており。電気量販店にエアコンの改修・新設工事の見積もりを出してもらったところ工事費用として357,726円との回答がありました。そのため、今回の助成金に於いて福利増進の項目として応募させていただいた次第である。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

エアコンの新設・改修が行われたことによって入居者が快適な空間で過ごすことが出来て生活水準の向上や精神面の安定に大きな効果をもたらせて頂きました。また、入居者の中には自立援助ホームで生活をする満足感が格段に上がったと話してくれる子がいました。精神面で入居者の安定が図れたことで、ホーム内でのいざこざが激減したように思います。本当にありがとうございました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今後の展望としては、男子寮だけでなく女子寮の新設も視野に入れた取り組みが出来る環境になってきていると感じております。岡山県では前年度に引き続き男子よりも女子の方が需要があるため、今後はさらなる環境整備を行い、少しでも早く女子の受け入れ態勢を整えて、困っている若者を支援していきたいと思っております。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。



入居者個人部屋新設 エアコン



リビング改修工事実施 エアコン